

県が管理する千曲川上流において6時間先の 予測水位を活用した洪水予報が始まります

県が管理する河川の洪水予報は、現在3時間先までの予測水位により発表していますが、このたび千曲川上流に関して、国土交通省北陸地方整備局から6時間先の予測水位が提供されることになりました。県民の皆様へ早期の避難の呼びかけを行えるよう、早期の洪水予報の発表に努めてまいります。

1 運用開始日

8月10日(木)

2 河川名

信濃川水系 千曲川(千曲川上流)

3 対象区間

上田市大屋^{おおや}(大屋橋)から佐久市下越^{しもごえ}(臼田橋)^{うすだばし}

4 水位観測所

塩名田水位観測所^{しおなだ}[佐久市]、下越^{しもごえ}(臼田橋下流)水位観測所^{うすだばし}[佐久市]

5 期待される効果

これまでよりも前倒して洪水予報を発表することで、流域自治体(市町村)による避難情報発令の前倒しや洪水発生前の早い段階で住民への避難を呼びかけが可能となる。

6 その他

洪水予報の発表状況は、以下のホームページで確認することができます。

気象庁(指定河川洪水予報のページ) <https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>

・洪水予報河川

水防法に基づき、流域面積が大きく、洪水により重大な損害を生ずるおそれがある河川として指定され、国土交通大臣または都道府県知事が気象庁長官と共同して洪水時の水位を予報する河川。長野県が管理する河川では4河川を指定(千曲川上流、諏訪湖、奈良井川、裾花川)。

・国が提供する予測情報の活用

国では、一級河川の本川と支川を一体で洪水を予測するモデルを令和3年度から導入。令和5年5月の水防法改正により、国の予測情報を都道府県が一級河川で行う洪水予報においても活用することが法的に可能となった。これにより、都道府県が洪水予報を行っていた河川においては、3時間先までの予測により行われていた洪水予報に対して6時間先までの国の予測情報を活用することで、より早い段階から洪水予報を出すことが可能となった。

(問合せ先)

担当 建設部河川課管理調整係 阿部、坂田

電話 026-235-7308(直通)

FAX 026-225-7069

E-mail kasen-kanri@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

担当 長野地方気象台 干場、阪田

電話 026-232-3773(直通)